

米と水から生まれる無限のバリエーション！日本酒の新たな注目トピックス  
**オーガニックな製法で造られた  
“bio（ビオ）酒”10種類を数量限定販売**

◎2019年11月1日（金）から「日本の酒情報館」（東京・虎ノ門）にて



試飲・販売予定の bio 酒

日本酒業界最大の団体で、全国約 1,730 の蔵元が所属する日本酒造組合中央会（東京都港区：会長 篠原成行、以下：中央会）は、日本酒の魅力をより多くの方に知ってもらうため、日本酒のきき酒、販売などを行う“日本の酒情報館”を運営、日本酒のトレンドや新しい飲み方提案を定期的に行っています。

**風の涼しさや夜の長さに季節の移り変わりを感じる「秋」のテーマは“bio（ビオ）酒”**

\*bio 酒とは、

- ① 無農薬、無化学肥料、また化学合成添加物を一切使用しない非遺伝子組み換え作物を使用
- ② トレーサビリティを公開している

日本酒のこと。

\*一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパンのガイドラインによる

**bio 酒は、最近注目を集めており、日本の酒情報館では、全国各地に数ある bio 酒になかから、北は宮城県から南は熊本県まで、全国各地の 10 種類の銘柄をラインアップ。11 月 1 日（金）から 1 杯 100 円から楽しめるきき酒をご用意。もちろん、お気に入りの bio 酒を購入することもできます。**

\*数量限定

bio 酒を 10 種類も同時に提供できるのは、日本酒造組合中央会だからこそ。各銘柄は数量限定のため、売り切れ次第、きき酒も終了してしまうことも。

米と水が生み出す無限のバリエーションと、さまざまな酒造りが育む日本酒の新たな楽しみ方をお見逃しなく。

【日本の酒情報館で提供する bio 酒について】 ※すべて税込

■ きき酒

bio 酒セット：その日のおすすめ 3 種類をセットにして、飲み比べることができます。  
30 ml×3 杯 300 円～ ※その日のラインナップにより金額は多少変わります

■ 販売一覧 ※すべて 100 円 (30 ml) から、きき酒することもできます

	有機米仕込 特別純米酒 一ノ蔵 株式会社一ノ蔵 (宮城県)		純米大吟醸 いのち 大和川酒造 (福島県)		五人娘 寺田本家 (千葉県)
	720ml   ¥1,781		720ml   ¥8,030		720ml   ¥1,781
	有機米「ひとめぼれ」を原料米とし、初秋の田園を吹く風のような穏やかな香りとお米の美味しさが生きた地味豊かな風味が特徴です。 ぬる爛もしくは常温がおすすめ。		酒造好適米「山田錦」を100%使用。上品な香りと柔らかな米のうまみが渾然一体となって膨らみます。		原料はすべて無農薬栽培の酒米。蔵人たちが酒造り唄を唄いながら、蔵にすみつく微生物とともに醸しました。濃醇な米のうまみと醸しの香りが楽しめます。
	仙禽 オーガニック ナチュラル せんきん (栃木県)		菊水 純米吟醸 オーガニック清酒 菊水酒造 (新潟)		300ml   ¥765
	720ml   ¥2,800		肥沃な大地と清らかな水が育んだ有機米を100%使い、純米造りで醸しました。香りよく、爽やかで、すっきりしたこの味わいをぜひ一度、五感で堪能してください。		「幻の酒米」といわれる金紋錦の有機栽培米のみを使用した純米酒です。洗練された端正な風味の中に、シャープさを感じる味わいを楽しめます。
	特別純米酒 英 (はなぶさ) 森喜酒造 (三重県)		720ml   ¥1,815		樽羅 (くじら) 純米吟醸 山田錦 千代酒造 (奈良県)
	丁寧に、慎重に、40日をかけて、きもと造りにつくられ、さらに30日のもろみ日数をかけ低温でゆっくり発酵し仕上げられました。		酒蔵のある樽羅の地で栽培された山田錦の純米吟醸生詰瓶燗酒。米・水・気候、樽羅の風土が作り出したお酒です。		香りは華やか。軽い味わいにして、ほのかな甘み。下の上をホロホロと流れてゆく静冽な雫は、あたかも深山に湧く管路な石清水を思わせます。
	さくや 通潤酒造 (熊本県)		720ml   ¥1,731		九州は熊本県、山都町の山付きの田で契約栽培された無農薬米のみを原料とした純米酒。山都町の豊かな自然が生み出した恵みをご堪能下さい。 旨みのしっかりある山里の酒です。

■ 一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパンについて

オーガニック&食育を主軸とした、2020年の東京オリンピック&パラリンピック開催に向けた、日本各地の活性化を推進する団体です。さまざまなキャンペーンを企画するなど、オーガニック関係者や農業・食事業関係者、自治体関係者を中心に、メディアやセミナーなどでオーガニックに関する情報発信や普及啓発を行っています。

■ 日本酒造組合中央会について

酒類業組合などに関する法律に基づいた業界団体で、酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、全国の約 1,730 の蔵元 (日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん) が所属しています。また、『國酒 (こくしゅ) 』といわれる日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんについて情報発信することで、国内外へ幅広く認知向上する活動に取り組んでいます。

《報道関係者からの問い合わせ》

日本酒造組合中央会 PR 事務局 (株式会社サニーサイドアップ内) 担当：安藤、藤岡

TEL : 03-6894-3200 Mail : japansake@ssu.co.jp